

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ごてる018(保育所等訪問支援)			
○保護者評価実施期間		8年 1月 13日	~	8年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間		8年 1月 13日	~	8年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間		8年 1月 13日	~	8年 1月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15(ご担当の先生ごとに実施)	(回答数)	15
○事業者向け自己評価表作成日		8年 2月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主として医療専門職（理学療法士）の訪問支援を行う事で補装具の調整、福祉用具の管理、調整、介助方法や環境を整える事で先生方の腰痛予防などの関わりが出来ます。またADLの評価等を行う事で客観的な情報を提供させていただきます。	先生方から多くご相談のある医療に関する部分について、専門用語等を使ったり、専門職員でないと出来ないような事ではなく知る事で関わりやすくなるようなポイントなどを集中的にお伝えさせていただいています。	訪問時以外で事業所側主体の研修会の実施を検討しています。介助方法や授業中で行われている自立活動などの場面で活用できるような技術の習得等の研修になります。
2	当市内の保育所等訪問支援のサービス事業所の増加と理解を深める活動を行っております。	市内の児童発達支援センターとの連携を取り、訪問支援の介入方法や保育所及び学校側との連携の取り方などについて会議等を行っています。	行政主体の連絡協議会への参加及び発信、部会の作成等により地域の中での位置づけを明確にしたいと考えています。
3	学校生活やご自宅での時間を重点的に支援します。	月に2回～3回程度の訪問で児童の学校生活やご家庭での生活の全てを支援する事は出来ません。訪問支援を通じてご家族様や先生方の教育にプラスになるきっかけ作りを行っていきます。	ご家族、学校はもちろんフォーマル、インフォーマルな関連事業所やサービスへの周知活動を行う事で訪問支援の存在を明確化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全てのニーズにお応えすることが出来ておりません。	訪問支援員の人員不足にあると考えます。	訪問支援員の人材教育を法人内で行い、地域に質の高い訪問支援が広がるように進めていきます。
2			
3			